

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-2-014
補助事業名 平成27年度 障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神障害に対する正しい知識の普及啓発を行い、もって社会福祉の増進に寄与する

(2) 実施内容

<https://www.comhbo.net/> (URL)

①精神障害啓発冊子の作成・配布

- 1) 対象：精神障害者とその家族、支援者、保健福祉関係者、医療機関及び一般の方
- 2) 内容：精神疾患に関する正しい知識、当事者や家族の体験談、精神保健福祉や社会資源等の最新情報を掲載したほか、「経済的な制度」「リカバリー」「ネガティブな気持ち」「人間関係」「医療」「生き方」「就労」「気持ち」「当団体の活動意義」「生活上のツール」「医療」「うつ」など、多岐にわたるテーマを特集した。

3) 様式：B5版64頁

4) 発行部数：毎月10,000部×12回（10,000部／月×12回／年）

○啓発冊子「こころの元気＋」

平成27年5月号 特集「お金に関する制度を活用する」

6月号 特集「あなたの夢はなんですか」

7月号 特集「こころの元気マイナス」

8月号 特集「巻きこまれてしまう関係」

9月号 特集「人に紹介したくなる病院を増やしたい」

10月号 特集「私の体験が役立つ」

11月号 特集「できれば長く働きたい」

12月号 特集「申し訳ないと感じます」

平成28年1月号 特集「コンボの2016年」

2月号 特集「いろいろなツールを使ってみる」

3月号 特集「まんが特集 精神科病院の世界」

4月号 特集「うつうつとしています」

(別紙5)

②ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会の開催

- 1) 対象：精神疾患の当事者
- 2) 内容：孤立しがちな当事者が他の当事者と情報や経験を共有する機会を提供し、全国で広まりつつあるピア活動のネットワークを作る。

プログラム

第1部 活動報告

第2部 ワークショップ(「言いつぱなし&聞きっぱなし」を体験)

(※「言いつぱなし、聞きっぱなし」とは、何でも話し放題や意見を言うてはいけないということではなく、「個人攻撃をしない」、「話をしている人を妨げない」、「話されたことは全部、会場に置いていき、後で蒸し返さない」などのルールに沿って行うプログラム。)

- 3) 時期：年間8回(5. 1. 2. 3月に開催)
- 4) 場所：日本全国8カ所にて開催
(新潟、長野、京都、茨城、群馬、島根、宮城、愛媛で開催)

○第21回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 新潟

日時：平成27年 5月23日

会場：新潟勤労者総合福祉センター 会議室
(新潟県新潟市江南区鐘木185-18)

参加者：37名



体験発表



集合写真

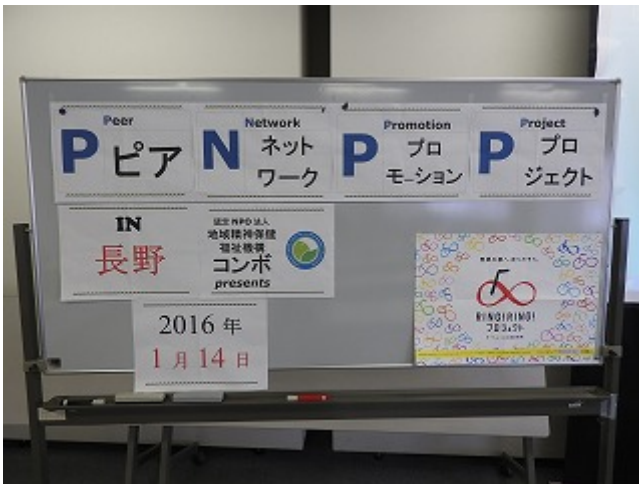
(別紙5)

○第22回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 長野

日時：平成28年 1月14日

会場：Mウイング(松本市中央公民館) 南棟3階 会議室3-2
(長野県松本市中央1-18-1)

参加者：35名



案内看板



講師説明

○第23回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 京都

日時：平成28年 1月28日

会場：京都テルサ D会議室
(京都府京都市南区東九条下殿田町70 京都府民総合交流プラザ内)

参加者：29名



講師説明



体験発表

(別紙5)

○第24回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 茨城

日時：平成28年 2月 1日

会場：土浦市亀城プラザ 大会議室2
(茨城県土浦市中央2-16-4)

参加者：32名



体験発表



グループワーク

○第25回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 群馬

日時：平成28年 2月23日

会場：前橋テルサ 9階つつじの間
(群馬県前橋市千代田町2-5-1)

参加者：32名



グループワーク



集合写真

(別紙5)

○第26回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 島根

日時 : 平成28年 2月29日

会場 : 松江テルサ 中会議室
(島根県松江市朝日町478-18)

参加者 : 21名



講師説明

グループワーク

○第27回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 宮城

日時 : 平成28年 3月18日

会場 : 仙台青葉カルチャーセンター 会議室403
(宮城県仙台市青葉区一番町2-3-10 カルチャー仙台ビル)

参加者 : 32名

(別紙5)



講師説明



集合写真

○第28回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会 in 愛媛

日時：平成28年 3月29日

会場：松山市総合コミュニティーセンター 第1会議室
(愛媛県松山市湊町7-5)

参加者：17名



体験発表



グループワーク

2 予想される事業実施効果

①精神障害啓発冊子の作成・配布

(別紙5)

啓発冊子「こころの元気+」は、2015年6月号をもって創刊から100号を迎え、メディアでも大きく報じられた。また、Eテレの番組「ハートネットTV」で30分に渡って番組で取り上げられたこともあり、認知度が格段に高まった。

この事業の根幹は「リカバリー」という考え方・文化を普及させることである。この「リカバリー」の概念を広げることを目的とした当事者向けの冊子は他になく、当団体が行う他の事業などとともに、「リカバリー」の考えは確実に日本に広がっている。

社会への理解が深まるにつれ、当事者は、「あらゆる可能性をもった人たち」と自分が人生の主演であると認識が変わってきた。当事者や家族は人生上のチャレンジを指向するようになり、支援者たちの立ち位置も、本人の可能性を活かすものへと変わってきた。この事業を継続的に行うことで、リカバリー指向がさらに拡大し、日本社会に貢献するものと思われる。

当団体は来年2016年1月で法人設立10周年を迎える。これまで精神疾患の当事者本人の姿や体験談をはじめ、科学的な根拠に基づく有益な情報を数多く提供してきた。今後も、さらに正しい知識の普及啓発と精神障害者への認識不足や誤解を払拭することを目指して事業を継続することで、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみづくりという社会的課題の達成を目指す所存である。

②ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会の開催

ピアサポートグループの目的は、当事者同士の互助・当事者自身が管理・運営することで当事者が元気になること、病気を持っていてもリカバリーすることである。横のつながりを持つことで孤独感が和らぎ、自己肯定感を得て、それぞれがリカバリーにつながっていく。しかし、自主的な活動では限界があり、当事者同士が一箇所に集まることができず、視覚化、ネットワーク化されることもない。

当研修会は「エンパワーメントの種まき」でもあるが、即発芽して花が咲くとは限らない。グループ立ち上げという「芽」が出るまで時間がかかることを、当事業を通じてあらためて理解してきてきた。時間はかかるけれども、グループを始めた、始めたいという問い合わせが、過去の参加者から寄せられはじめ、それぞれがそれぞれの地元で社会資源と結びつき、地道な活動を進めている。今後、さらに多くの地域で新たな活動グループが生まれてくると予想している。

今後さらに更に事業を継続することで、カウントされない社会的ひきこもりの当事者、社会から認知されていない各ピアサポートグループが研修の場で出会い、ネットワーク化、視覚化されることで、地域社会とのつながりを持つようになる。当事者が社会の中で安心して主体的に暮らしていく地域ができあがり、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみづくり、社会的課題の達成に近づくとと思われる

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

①精神障害啓発冊子の作成・配布

https://www.comhbo.net/?page_id=104 (URL)

1) 啓発冊子「こころの元気+」 毎月10,000部×12回(10,000部/月×12回/年)



啓発誌「こころの元気+」5月号



啓発誌「こころの元気+」6月号



啓発誌「こころの元気+」7月号



啓発誌「こころの元気+」8月号



啓発誌「こころの元気+」9月号



啓発誌「こころの元気+」10月号

(別紙5)



啓発誌「ココロの元気+」11月号



啓発誌「ココロの元気+」12月号



啓発誌「ココロの元気+」1月号



啓発誌「ココロの元気+」2月号



啓発誌「ココロの元気+」3月号



啓発誌「ココロの元気+」4月号

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

https://www.comhbo.net/?page_id=2433 (URL)

1) ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会

- ・ 開催案内チラシ
- ・ 当日配布資料

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 認定特定非営利活動法人精神保健福祉機構
(チイキセイシンホケンフクシキコウ)

住 所： 〒272-0031
千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F

代 表 者： 代表理事 大嶋 巖 (オオシマ イワオ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 寺本 育男 (テラモト イクオ)

電 話 番 号： 047-320-3870

F A X： 047-320-3871

E - m a i l： pr@comhbo.net

U R L： <https://www.comhbo.net>